

# 和牛の繁殖を効率化

日本コンピュータコンサルタント（横浜市神奈川区栄町、☎045・440・6125）は、和牛繁殖の効率アップにつながるクラウド型システム「moopad（ムーパッド）」を開発、発売した。これまで繁殖農家の経験に頼っていた牛の発情時期や受胎、出産のタイミングなどをビッグデータを活用して通知。システムで一頭一頭を管理し、情報を随時知らせることで繁殖のタイミングを逃さないようにする。これにより、和牛繁殖農家の競争力向上につなげていく。



日本コンピュータコンサルタント

和牛の繁殖時期は1年に1回とされる。農家はこの時期を適切に見定めて種付けをしなければ繁殖が成功しないという。しかし、例えば母牛が100頭いる農家だとすると、一頭一頭の繁殖時期を管理するのは難しく、

繁殖効率の低下は、農家にとっては死活問題になってくる。

そこで同社では、繁殖農家や自治体などの意見を元に繁殖の効率化につながるシステムを開発。このほど全国販売に乗り出す。

同システムでは、あらかじめ情報を打ち込んだ母牛一頭一頭の情報を管理。ビッグデータと照らし合わせ、繁殖予定を割り出す。そして繁殖カレンダーや母牛ごとのタイムラインを作成し、パソコンやスマートフォンで表示する。

「繁殖農家は高齢化が進んでいます。IT化して簡単に繁殖管理ができるようになれば、若い人にも任せられます」と富田松平社長。

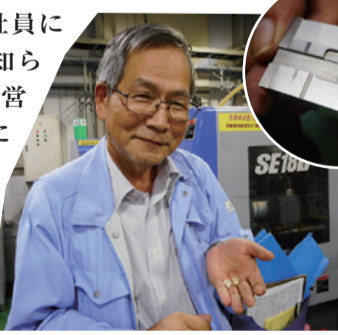
システムの導入費用や利用料はゼロ。1頭の出産があれば1000円を支払う仕組み。「まずは全国の繁殖農家の2割に普及させていきたいです」（富田社長）と話している。

## ■人材教育に力

同社は金融関連のシステム受託開発やITコンサル事業などを柱とする。ITビジネスに求められる業務と、それを支える人材教育を体系化し、成果を出している企業を認定する「iCD活用企業認証制度」（特定非営利活動法人スキマ）

## 社長の経験 ゼロから伝え

テック化成（綾瀬市早川、☎0467・79・5177）は、事業承継に向け舵を切った。創業社長による勉強会を定期開催し、培ってきた知識を広く伝える一方、会社の数字を透明化。全社員に会社の状況を知らせ、少しでも経営的な感覚を身に付けてもらう。



テック化成

今年35年を迎える同社は、コネクター用金型製

造と樹脂成形などを手掛ける。取引コネクターは電気自動車（EV）関連やセンサー技術といった先端技術の普及が進むほど、需要が増える。そんな中で創業者である山下俊一社長は「事業拡大の鍵は先を読む力です。次の世代にも伝えたい」と話す。そのため、社内では今まで当たり前のように社長がやってきたこと

や、知っている知識をゼロから伝えようと、月1回、第二土曜日に勉強会を開催している。

また、「4枚つづり」と呼ばれる「成型」「金型」「金型仕入」「その他支払」に関する数字が全て記載されている経理書類を、全社員の誰もが見られるよう掲示。決算書までも公表している。

12年前、会社の若返りを図ろうと人材を一新したところ、6年間で累計2億円近い赤字を出した苦い経験がある。この失敗を分析するとともに、「会社としてのリスクがどこにあるかをしっかりとらせることで“将来に備える力”を付けていきます。社長として、後を託す社員にきちんと引き継ぎたいです」（山下社長）と語っている。

スマホで管理可能に  
スマートホ  
管理可能に

## 「磁気処理水」を用途開拓

エッチアールディ（HRD、横浜市金沢区福浦、☎045・788・8228）は、通過する水に強力な磁気を発生させることで水を活性化させる「磁気処理水」の用途開拓に乗り出す。

同社では磁気処理水を精製する装置「ダイポール」を家庭用に展開しているが、今回は業務用にも拡販する。その一環として、トイレ周辺の悪臭や汚れに悩まされる大手鉄道会社の技術事務所に提案。検証を重ねた末、納入に成功した。今後は磁気処理水に防臭や防汚、防錆機能があることも実証する一方、ボイラー施設や飲食店などにも売り込む。

同社の磁気処理水は、装置内に5000ガウス（0.5ミリテスラ）以上の磁場を発生させる永久磁石を10カ所内蔵。そこに水道水を通すことで活性化させるもの。この技術を採用

した「ダイポール」は、家庭用活水器として全国18万世帯に普及している。価格は19万5000円から。

同装置は水道の蛇口に置く浄水器とは異なり、給水管そのものに設置することで、家庭で使用する水の全てが磁気処理水になる。装置はオールステンレス製でメンテナンスも不要だ。

今回、同社では磁気処理水の効果を検証する一環として、東北文化学園大学大学院と連携。研究室内のトイレ配管に「ダイポール」を設置し、4カ月にわたり、便器の汚れや臭いが軽減するかを検証。その結果、防汚や防臭が定量的に確認できたという。また、今回納入した大手鉄道会社でも同様に検証した。

「磁気処理水の用途は今までは家庭用が主流でした。しかし、これからは企業にもっと提案したいです」と井田明執行役員。将来的には売上高に占めるBtoBの比率を現状の5割増にする考えだ。



大手鉄道会社に納入

# 創意工夫で 残業・離職ゼロ

働き方改革に対する関心が高まる中、ケミカル電子（相模原市南区大野台、☎042・730・4777）の取り組みが注目されている。「もうかっている時に残業させれば、人件費が増えて利益率が落ちます」と日向敏夫社長。すでに10年以上前から働き方改革に着手し、残業の原則禁止と社員の離職率実質ゼロを実現した。



## ケミカル電子の挑戦

### ■仕事を分散して対応

電子部品でめっきの後処理で用いる「水溶性防錆剤」を製造販売する社員数18人の企業。

## 10年以上前から働き方改革

社内ですべて決めているのが残業の原則禁止。就業時間は午前8時半から午後5時半まで。定時時間内に終わらせなければ、仕事の効率化が図れないという

のが理由だ。離職率もほぼゼロ。この10年間、寿退社などを除くと自主的に退社した社員はいない。

「何も特別なことはしていません」という日向社長だが、社員一人一人の生産性を上げることに力を注ぐより、むしろ“職場のコミュニケーション”を徹底させている。

「忙しい社員がいたら、周囲が手伝って対応する。一人では限界があっても、誰かが協力すれば生産性が1.5倍になります。一人に仕事が集中することなく分散するよう、私や管理職が気を配っています」（日向社長）。

### ■外部セミナーは参加自由

一方、人材教育にも力を入れる。といっても、会社として研修をやるのではなく、産業支援機関や企業が行っている技術セミナーなどに、勤務時間中を問わず誰でも経費で参加できる制度を設けている。日向社長は「中小企業にとって時間とコストが一番かかるのは人材育成です。だったら、外部でセミナーがあれば行ってもらいます」と説明。実際、週1〜2回は何らかのセミナーに参加する社員もいる。

また、同社では入社年次にかかわらず、全社員に一定の権限を持たせている。経験を問わず、製品の企画から開発までを手掛けさせることも。離職しないのは「個々の社員に責任を与えることが大きいからでは」（同）とも話している。

## 事業承継に向け始動

### 社長さんが知っておきたい 冠婚葬祭のマナー

表の水引の下には「会社名・代表者の役職・氏名」を省かずに記入し、中袋の裏側には「包んだ金額」「会社の住所・連絡先」を記入しましょう。先方は、後からお礼のお



### ■葬祭に参列する場合の基本的なマナー（御香典編）

手紙やお返しを送る際のリストを作成します。その際、受付カードと不祝儀袋を照らし合わせながら行いますので、支社や支店などの詳細な情報が必要で、お返しは不要なお気持ちから、省かれる方もいらっしゃるかもしれませんが、先方が調べて確認するお手間が省けますので、ご記入いただいた方がより親切と言えます。一方、会場では、会葬者芳名録への記載をします。名刺をお渡しすることで記載の代わりとなりますので、名刺も持参ください。受付で御香典を直に鞆や上着のポケットからお出しする方が見受けられますが、鞆や包んで持参するのが礼儀です。そして受付では「この度は誠に恐縮でございます」などのお悔みの言葉を述べます。次に名刺や芳名録カードをお渡しし、袱紗から御香典を出し、受付の方に正面を向けて手渡しします。社葬への参列は、ビジネスシーンにおいて特に厳格なマナーが求められます。失礼のないよう、十分に確認することが大事です。（清水誠葬具店副社長・清水ふじ代）

前回、お話しに出た参列について、今回は少し掘り下げてお話ししたいと思います。これはおさらいですが、参列にうかがう前に、今一度、計報通知をしっかりと確認しましょう。最近の「社葬」では、税務処理が複雑になることから、御香典の受け取りを辞退することが多いようです。先方の企業様に御香典辞退の意向がなければ、準備を進めましょう。ご用意していただく御香典袋は「不祝儀袋」とも言われま